

# 櫻守の会

平成31年4月1日(通巻239号)  
発行：櫻守の会代表 土井喜夫  
〒665-0001 宝塚市長寿ガ丘17-45  
会員数 112名(2月25日現在)  
HP：<http://www.sakuramori.net>

2019年 4月

大塩 春治

黄土高原の緑化活動に参加する中で、植樹には生育環境に応じた工夫が欠かせないことを学んだ。例えば、地面に溝を掘って、その北面に苗を植えると活着率が確実に上がった。乾燥地では水分の蒸発が僅かでも遅い北斜面の方が有利なのである。また、植樹地に管理人を置いて手入れを継続している場所では明らかに生育が良好であった。発足以来、櫻守の会は多くの植樹・育樹を実施して来たが、とりわけ順調に推移している3例について、その成功の要因を考えてみたい。

1. 武庫山のアベマキ：竹林の跡地に植樹したもので、10年ほどで結構な林になってきた。数年間は下草刈を行ったが、移植苗が十分大きかったことが幸いして、雑草や雑木に負けることがなかった。
2. 山手台のサクラ：長尾幼稚園の建設に伴って移植された。数年にして樹勢がすでに旺盛である。近藤(秀)さんに負うところが大きく、大きな植穴の掘削、施肥、下草刈、水やりなどを主導し、活動日以外にも献身的に手入れをされている。
3. 亦楽山荘のサクラ：桜の尾根と赤松展望台では、数年来、陰山さんが気配りを怠らず、地図の作成、雑木の除伐、施肥、水やりなどが行われて来た。一方、つつじが丘のサクラは、頻繁に自生木の周りの除伐を行うことによって順調に成長している。3カ所とも徐々にサクラ林の形が出来つつある。

植樹・育樹には、地味及び地形、水脈、日照など多くの要因を見極める必要がある。しかし人の熱意と工夫が決定的に重要であることもまた経験して来たところである。上記に倍する失敗例も含めて、櫻守の会として経験を蓄積し、共有する仕組みを作ることが必要な時期ではないだろうか。



コバノミツバツツジ 2019.3.23 亦楽山荘



ヤマウグイスカズラ 2019.3.10 武庫山の森

## \*\*\*\*\* 目次 \*\*\*\*\*

表紙	P1	序文
活動報告	P2~P5	活動報告(亦楽山荘、ゆずり葉の森、青葉台、山手台、武庫山の森)
イベント報告	P6	自然観察会
お知らせ・案内	P6~P7	運営委員会、総会・20周年祝賀会、花と緑のフェスティバル、武庫川エコハイク他
会員紹介	P7~P8	会員紹介(1名)
活動予定	P8	月別活動予定表

## ＜ 活 動 報 告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

吉田 隆信

2月24日(日) 晴れ 参加者21名

寒さも和らぎ春めいた日差しの中、各班とも目覚めた虫どもの襲撃に悩まされたようです。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
桜育成	大峰道(林間広場上)	*ヤマザクラ植栽	4名	吉田
伐採	赤松道~つつじが丘	さくら廻りのヤシヤブシ伐採	8名	濱野
園路整備	どんぐりの道	階段整備、路肩補修	4名	加賀野
園路整備	桜坂	階段整備、路肩整備	5名	坂田

・ **桜育成** 実生1年ものヤマザクラを大峰道沿い(崩落地上)に4本植樹した。穴掘りの後、培養土を入れ、苗を移植。強風対策にソヨゴで支柱を作り固定し、さくらの尾根から運んだ水で灌水した。作業は午前中でほぼ終わり、植樹終了後は園路整備班(坂田班・加賀野班)に合流した。(吉田)

・ **伐採(赤松道~つつじが丘)** まず、赤松道で枯れた大きな枝の処理を行い、次に赤松展望所手前の谷にある桜を邪魔している松を伐採してから目的地に到着する。一方女性軍は、遠見の道から上がり、樹名板の取り付け樹木調査をしながら、目的地へ到着。赤松展望所から、つつじが丘に行く中間あたりの森に入り、桜の生育の邪魔をしているヤシヤブシを主に伐採する。常緑樹1本とヤシヤブシ4本伐採したところで時間になり下山しました。春の様な日差しと温かさのお陰で、谷に入ると子虫の襲来に会い、虫に好かれる人は、数カ所かまれる被害に遭いました。(濱野)



つつじが丘手前 伐採木処理

・ **園路整備(隔水亭~城が丘広場)** 遠見倉庫から丸太3本、プラ階段4組を分担して運び上げ、どんぐりの道の隔水亭上の谷川部の崩れかかっていた石段の補修から作業を開始しました。その後谷上の平坦部、登り坂下、中段部の階段を丸太、プラ階段と一部現地調達した伐採木を使って補修及び新設し、当初予定した園路整備を終えました。少し時間に余裕があったので、谷上平坦部で鬱蒼としていたアオキ等の常緑樹を間伐しスッキリさせた後、下山しました。本日は比較的暖かいこともあってチョット湿っぽい箇所を掻き回すと大きなブトが多数飛び交い顔面攻撃を受けました。少しずつ春に近づいているようです。(加賀野)



どんぐりの道 階段整備

・ **園路整備(桜坂)** 斜面際ナイロンフェンス脇の崩れて道を狭くしている土砂を除き道幅を確保、朽ちかけた階段の横木も数本交換した。積もった落ち葉は隠れた小石でつまづいたりしないようブローアールを使用して除去した。中間部の園路脇の「ヤマザクラ」、倒れないようビニール被覆のワイヤで支えてあったが、有効に作用していないのと、景観も損ねていたので取り外した。(坂田)

3月5日(火) 晴れ

参加者28名 NHK取材1名

\*桜育成の報告は末尾

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
サクラ育成	桜坂、育樹の丘	*オオシマザクラ4本植樹、NHK取材	5名	陰山
伐採	赤松道~つつじが丘	枯れ松、枯れコナラ等伐採	9名	濱野
園路整備	さくらの道	伐採木整備、園路清掃	7名	坂田
伐採	親水広場	中折れサクラ伐採	7名	吉田



天気も良くなりブトも花粉も飛びかかっていましたが参加者が多かった為、桜のシーズンの準備など予定した作業ができました。また、NHK から番組取材前の調査に来られた方に園内を案内しました。

・伐採（赤松道～つつじが丘） 春の様な温かい日になり、山登りで赤松展望所に移動するだけで汗びっしょりとなりました。赤松道の枯れたサクラの木の枝処理をチェーンソーも使い実施してから、赤松展望所へ。まず谷の大きな枯れ松の伐採を行った後、その周りの実生の2本のサクラの日差しを邪魔しているヤシャブシ3本を伐採するのに昼過ぎまで掛かる。午後にはつつじが丘へ行く途中の枯れ松2本を伐採、その内1本は、枝ぶりが大きく伐採方向をチルホールを使っても無理と判断し、受け口のみでコントロールしたが、目論見通りに伐採出来た。園路横の大きな枯れコナラの伐採も考えていたが時間的に無理と判断中止し、赤松植樹地の下部の枯れ松と小さい枯れコナラを伐採してから、下山しました。（濱野）



赤松 伐採枯れ松処理

・園路整備 桜坂園路周辺のあちこちに積まれた伐採木を、景観改善のため数か所にまとめ整理する作業を行いました。斜面に積まれた伐採木は、人力だけでは移動できない重量のものが多く、チェーンソーで分割する必要がある、また作業中に丸太が滑り落ちる危険もあり注意が必要な作業でした。午前中は、吉田班7名の助勢を頂き、人海戦術であちこちに積まれた伐採木を数か所に集積致しました。吉田班が当初予定の作業に別れた午後も、引き続きこの作業を続け中間地点くらいまでは大分片付けることが出来ました。併せて、園路の清掃も実施致しました。（坂田）



さくらの道 伐採木集積

・伐採（親水広場付近） 午前中は坂田班に合流してさくらの道の伐採木の整理等を行った。午後は親水広場に移動して、桜の中折れ木を伐採処理した。根本伐採後ロープで引くとうまく分解して倒れた為、もう1本は伐採の必要がなくなり、残りの時間は付近の伐採枝葉の整理を行った。（吉田）

**3月23日（土）曇り 参加者28名 体験参加13名（阪神・淡路自治労）**

休憩時間はぞくぞくする寒さでしたが、参加者も多く、体験参加の皆さんと4月のサクラ見学会の準備等の作業をしました。 \*桜育成の報告は末尾 ( )は体験参加者

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
桜育成	桜坂、育樹の丘	*オオシマザクラ植栽4本（育苗畑）	4名	陰山
園路整備	東屋～隔水亭	アオキ剪定	4名+(7名)	加賀野
園路整備	桜坂、さくらの道	伐採木整理、常緑除伐、階段補修	11名+(6名)	坂田
伐採	城ヶ丘～つつじが丘	枯れマツ、枯れコナラ等伐採	9名	濱野

・園路整備（桜の道・東屋～隔水亭） 沢部近辺で園路両側急斜面のアオキの剪定をハサミと(小)鋸を使って行った。作業範囲では上から、および横から見ると林床が見え、スッキリ見通せるようになりました。未だアオキが密生、繁茂する箇所が残っており作業継続が必要です。（加賀野）

・園路整備（さくらの道） 先ず桜坂下部のトンネル上の広場で、大ヤマザクラ周辺に散乱する伐採木を隅に移動整理し、近くでヤマザクラの邪魔をしていた中木を1本伐採した。その後「しんちゃん」付近に移動して、斜面に放置された伐採木を片付けた。東側のヒノキ林近くのアオキ類を間伐し、また東屋下の園路の落ち葉を片付け通路を通り易くした。これで4月6日の桜見学会に向けた桜坂の園路整備は完了とする。（坂田）



さくらの道 常緑除伐

・伐採 まず、城ヶ丘広場手前の斜面に、風により折れてしまった大きなアカシデが前方の谷の木に掛かり木になった状態をチェーンソーで伐採する。ロープで引いたが動かず、胴切りを3回行うことにより、谷の地面に降して伐採処理を完了する。結構手こずる作業になりました。続いて、赤松道の終点近くの園路横の大きな枯れ松処理。大きな枝を高枝切で伐採した後、本体をチェーンソーで谷に伐採する。急な谷の中に降りてなんとか枝処理を完了させる。つつじが丘の手前まで移動して昼食を取る。その後、大きな枯れコナラをチルホールを用いて目的方向に伐採し、枝処理をする。更にアクラ山分岐手前の傾いたソヨゴを3本処理すると共に、枯れたコナラの枝で周りの木が折れた所を整理するなどの作業を行ないました。(濱野)



枯れコナラ伐採後

・「桜植樹2019」月間報告 2月の第3活動日にヤマザクラ4本、3月の第1と第2活動日にオオシマザクラ各4本、合計12本を植樹。ヤマザクラは、会員が自宅で種から育てた1年生(発芽後1年)の若い苗木を大峰道上部の索道跡の裸地に植えました。1年生の苗木でも十分育つという実績はオオシマザクラに関してはありますが、今回はヤマザクラで植える場所も尾根上の荒地なので、懸念はありましたがダメモトで植えてみました。上手く根付けば1年生の苗木でも(発育の良いものは)苗床を経由せず直接定植できる事が確かめられます。オオシマザクラは、河川改修工事の為に伐られた廃線跡入口の2本のオオシマザクラから採った種を会員が発芽させ自宅で1年ほど育てた後、苗床に移植した2年生(発芽後2年)の苗木を桜坂の道脇に5本、東屋の近くの平坦地に3本を定植しました。今回は、園路から見えない植樹地ではなく、人目に触れる道脇に植えてみました。丁度開園20周年にあたるので上手く育てば「開園20周年記念植樹」という標識を建てたいと思っています。(陰山)



3/5 植樹 3/23 若葉発芽

## ゆずり葉の森

上田 威

3月12日(火) 曇り 参加者21名

朝7時頃には雨模様なるも8時過ぎには薄日が差す程に天気は回復。21名の会員が参加し、4班に分かれて作業を開始。第一班2名はカスミザクラ一年生の苗木一本をドンダリの丘に植樹。第二班2名は白瀬川広場で六本のホダ木にシイタケ菌の植菌。第三班4名はチェーンソーを携え白瀬川の川床で楠倒木と傾斜したコナラを伐採、コバノミツバツツジ回廊に移動し傾斜したカラスザンショウを伐採、更にコバノミツバツツジ東斜面に移り伐倒したままになっていたコナラの処理とウルシ系傾斜木の伐採/処理を行った。これら三班は全て午前中に作業を終えて第四班に合流。第四班13名はコバノミツバツツジ回廊で刈払機2台も使用して笹などを刈取る林床整備を行った。一部の区域ではツツジの樹勢快復への効果を試す為に落ち葉掻きを行った。顕著な効果があるか楽しみだ。過去数ヶ月間取組んで来た白瀬川広場脇ヤマザクラの根元修復は無事完了した。ツツジの丘の園路には一部早咲きのコバノミツバツツジがピンクの花を咲かせていた。午後2時半に全ての作業を終え、3時前に解散。



コバノミツバツツジ回廊内の笹刈



カスミザクラ 1年生

## 青葉台

上田 威

2月28日(木)の活動予定は、雨のため中止になりました。



3月19日(火) 雨天中止でした。  
 午後に雨が上がり、山手台に来てみたところ、山手台住宅地に面したところの早咲きのヤマザクラがすでに咲いていました。また本日は長尾幼稚園の卒園式で、卒園の園児より櫻守の会に対し微笑ましい感謝状をいただいたのでご紹介します。



3月3日(日) 曇 参加者 20名

春らしい天気。朝は黄色までだった広場のミモザが帰りににはポツンポツンと開花していた。

### 1. 塩谷ルート上部の常緑樹除伐(継続) 6名

前回に続きルート東側の常緑樹の萌芽切り、除伐、落ち枝の処理等をして上り目標の頂上まで到達した。仕上げに森を暗くしていたソヨゴとアラカシ各1本を除伐して終了。太く枝葉が多くて手間がかかったが明るい空間が広がった。

### 2. 塩谷ルートの常緑樹の除伐(継続) 6名

塩谷北斜面上部で直径40センチ位、樹齢50~60年のヤシヤブシ3本を伐採した。チェーンソーを他作業に回したので大鋸で挑戦。あまりに太くて足場も悪く、受けを切るのに1時間以上かかったが、追いは問題なく斜面に向けて豪快に倒れ大量の花粉が舞い上がった。午後からはチェーンソーを取り寄せて幹や太い枝を処理し、最後の1本は後処理も含め45分で終了した。

### 3. 武庫山ルート北入り口の崩落中の崖に土留め作り 6名

少しでも崩落を止められないか、崖の下部や下の平地に植樹できないかと考えて挑戦してみた。土留め材料として斜面下端のヤシヤブシ2本と、崖の上で根をほとんど露出して今にも落ちてきそうなコナラ1本を伐って使用。足場も手掛かりも少ない崖端のコナラ伐りは予想以上に手こずったが何とか伐り落とせた。3段の土留めを設置し、崖下の平地の常緑を整理して作業終了。

3月16日(土) 曇 時雨 参加者 16名

7時過ぎの強い雨も上がり何とか活動できたが、冷たい雨が降ったり、陽が差したり、目まぐるしく変わるなかでの作業だった。広場のミモザは満開、ミツバツツジが咲き始めた。

### 2. 中央ルートの常緑樹の除伐 7名

中央ルートのサクラと競合するクスノキ2本を、サクラを傷つけないようチルホールを使用して倒した。思った以上に背の高い木で掛かり木になったが、チルホールで安定化し枝葉の処理をした。午後からの2本目はサクラとサクラの間に倒す難しい作業だったがサクラに傷を付けず無事に倒せた。その他、アカメガシワ、ヌルデなどを一緒に処理した。

### 3. 山手台から譲り受けたヤマザクラ他の植樹 6名

山手台からのヤマザクラ苗10本を森を一回りして枯れコナラ伐採跡の空間(塩谷ルート頂上に3本、宝松苑ルート連絡道分岐に4本)と北谷堰堤下左岸(ビオトープ横の昨年サクラが枯死した辺り)



塩谷道のヤシヤブシ伐採



武庫山道の崩落崖土留めを

に3本植樹した。左岸には塩谷斜面から掘り取ったイロハモミジも3本植えた。

午後は武庫山ルート of 崩落崖に前回作った土留めの間に、育樹畑のムクノキ・クスギ合わせて5本と山取のモミジ6本を植え、最後に上部にアオキなどの種を播いて終了した。崩落崖への初挑戦なのでどうなるか分からないが、無事育つことを祈るばかり。今年の植樹は今回で終了、計44本植樹した。



ナラ枯れ跡にヤマザクラ植樹

## < イベント報告 >

### 自然観察会

土井 喜夫

3月8日(金) 晴れ 参加者10名

JR西宮名塩駅を10:30分出発、八幡神社ではサカキの冬芽観察、段々畑では早春の野草、塩瀬公園ではマンサクの花、名塩団地ではアメリカフウ・アキニレ、ユリノキなどの観察をした。天気も良く早春の自然を体験できた。



名塩八幡神社のゴジイの大木

## < お知らせ ・ 案内 >

### 運営委員会(3月度)報告

土井 喜夫

日時:2月27日(水) 10:30~12:00 場所:ぷらざこむ1 25A会議室  
(議題)

- ① 公開講座(2/23)報告・・・3月会報本文参照のこと
- ② 20周年記念さくら見学会案内(4/6予定)・・・3月会報お知らせ欄参照のこと
- ③ 郵貯銀行の規約変更に伴う会則表現変更依頼あり・・・総会(5/20)で承認頂く
- ④ 北摂里山応援事業(2019年度)の候補募集
- ⑤ サクラバスツアー(4/10)募集・・・参加申し込みは武原委員まで 以上

### 第20回 櫻守の会総会 及び20周年記念祝賀会

運営委員会

第20回櫻守の会総会および祝賀会を下記の通り開催しますので、万障お繰り合わせの上、多数のご出席をお願いします。

日時:2019年5月20日(月) 13:00~場所:ぷらざこむ1 2階 21A/B会議室

会設立20周年記念祝賀会は、総会終了後に1階レストラン「しゅあキッチン」で開催いたします。詳細および参加受付は、5月号の会報でご案内致します。

### 第27回 花と緑のフェスティバルご協力をお願い

加賀野 久生

宝塚市花と緑の協会主催毎年恒例の“花と緑のフェスティバル”が下記日程で開催されます。

場 所:末広中央公園(宝塚市役所前)

開催日:4月27日(土)、28日(日) 10:00~16:00

櫻守の会は今年も、どんぐり工作、ビニール凧作り、丸太切りとペンダント作りの参加型イベントと、竹トンボなど手作り作品の販売、櫻守の活動紹介パネル展示など盛り沢山の出店を行います。

初日の27日9:30より会場設営を行います。来場者が多い時間帯は、10:00~15:00頃で参加型イベントの指導や接客に、これまでご協力



丸太伐りとペンダント作り 2018.4月

頂いていた方々、ならびに初めての方とも多数の会員の応援が必要です。イベントジャケットご持参で、皆様のご支援ご協力をお願いします。

### 自然観察会

土井 喜夫

日時：2019年5月8日（水）10時～12時 場所：武庫山の森（集合 物置の広場）  
コース：広場→塩谷川ルート→中央ルート→広場 雨天中止

### 桜見学バスツアー（海津大崎）ご参加の皆様へ

事務局

桜バスツアーは予定通り4月10日に催行致しますので集合場所など再確認のためお知らせ致します。なお、会費は当日に集金いたします。

日時：2019年4月10日（水）

場所：阪急宝塚駅三井住友銀行前 8:30（時間厳守） 確認次第出発致します。

席順：ご家族での申込の場合は、座席は指定（前方座席の隣同士）とさせていただきます。

それ以外は自由席ですのでよろしくお願い致します。

緊急連絡先 近藤 茂（080-5709-3630） 武原 健一（090-8145-3751）

### 武庫川エコハイク第143回「武庫川溪谷と桜の園」

エコグループ・武庫川

今回は春の武庫川溪谷を歩きV字谷の景観、自然環境、伝承などを知り、花いっぱい桜の園を訪ねませんか

日時：平成31年4月13日（土） 雨天中止

集合：JR福知山線「西宮名塩駅」改札口出て左側デッキ 9時30分

ルート：JR西宮名塩駅前～くらがり街道～旧福知山線廃線跡～親水広場～

桜の園「えきらくさんそう亦楽山荘」（園内周遊）～親水広場～武田尾温泉～JR武田尾駅

解散：15時頃 JR武田尾駅

参加費：100円（保険代、資料代）

申込み：不要（当日集合場所にお越しください）

持ち物：弁当、飲み物、雨具、懐中電灯（トンネルが有ります）

服装：ハイキングできる服装、滑りにくい靴

\*お問合せ：エコグループ・武庫川 携帯 090-7763-6763（上田）

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>



### 会員消息

事務局

\*退会者 海野 政治さん、中尾 三郎さん、松沢 文雄さん、脇塚 陸さん、  
賀集 久男さん、平野 英夫さん、廣渡 禮吉さん。

今月は長きにわたって活躍された方々の退会連絡が続きました。

寂しい限りです。長い間、本当にありがとうございました。



\*入会者 畑田宏美さん（再入会） 武田尾・畑熊商店のご主人です。今後ともお世話になります。

## 《 会員紹介 》

### 吉岡 武彦さん

櫻守の会に入会して4年、75歳の昨今の思いも合わせ、自己紹介を致します。

最近、故郷が時々夢に出る。播州そろばんの産地で、家内工業が盛んであった。小学生の頃、農繁期（田植え、稲刈り）には学校は休校になった。子供たちは当然のように働いた。自然の中で。懐かしい記憶である。80年代に行われた全国的な圃場整備で、少年時代の故郷の景色は一変した。里山は崩さ



れ、産業道路や舗装農道が、平らかな圃場を横切り、思い出を懐かしむ術を失くした。息子が幼かった頃、よく実家へ連れて帰った。彼と昔の故郷の景色を共有していることにわずかな満足を感じている。

50歳の頃から、古代史に興味を持ち、歴史探訪を始めた。明日香、奈良に始まり、シルクロードに足を踏み入れた。司馬遼太郎さん、井上靖さん等の本に魅せられて、過去数回、西に向かってシルクロードの要所を訪れた。目下は、中央アジアのカスピ海と黒海に挟まれたコーカサス地方への探訪を思案中。体が元気なうちにの思いが募るこの頃。歴史書物や小説に思いを開かれ、未知の魅力に未だ興奮を覚えている。遠出の山行もしたが、最近では近場の山歩き、史跡巡りを楽しむ。山歩きのある日、山道を整備される櫻守の会の方々の奉仕活動に共感を覚え、入会した。

20周年を迎える櫻守の会に誇りを感じています。会員の皆さんとの交流を通して、元気で活動を続けたいと願っています。

## ◀ 活動予定(4月・5月) ▶

### 月別行事予定表

4月	場所等	5月	場所等
4月1日(月)	ゆずり葉の森	5月5日(日)	武庫山の森
4月3日(水)	桜の園・亦楽山荘	5月8日(水)	自然観察会(武庫山の森)
4月6日(土)	さくら見学会(桜の園)	5月10日(金)	桜の園・亦楽山荘
4月7日(日)	武庫山の森	5月14日(火)	ゆずり葉の森
4月10日(水)	さくら見学バスツアー	5月16日(木)	桜の園・亦楽山荘
4月12日(金)	桜の園・亦楽山荘	5月18日(土)	武庫山の森
4月16日(火)	山手台	5月20日(月)	総会、20周年祝賀会
4月20日(土)	武庫山の森	5月21日(火)	山手台
4月21日(日)	桜の園・亦楽山荘	5月25日(土)	桜の園・亦楽山荘
4月25日(木)	青葉台	5月29日(水)	青葉台
4月26日(金)	会報印刷(ぷらざこむ)	5月30日(木)	会報印刷(ぷらざこむ)
4月27日(土)	花と緑のフェスティバル	5月31日(金)	廃線敷き草刈り
4月28日(日)	〃		

集合時間 : 桜の園・亦楽山荘・・・親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分  
他の3活動地は9時30分。

天候 : 当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

### <編集後記>

4月に「20周年さくら見学会」「さくらバスツアー」「花と緑のフェスティバル」等盛りだくさんのイベントを控えて3月は嵐の前の静けさ、青葉台や山手台が雨の為活動中止となったこともあり、今回は8ページ立てとなりました。が、随所に興味深い記事もあり内容は濃くなっていると思います。初期の中核メンバーの方々の退会が相次ぎ寂しい限りですが、若い(?)我々が更に会を盛り上げていかなければとの思いを新たにしたところであります。(坂田 記)